

# 事業計画書

## 令和2年度 韮崎市社会福祉協議会事業計画

### 1. 運営方針

本市では、少子・高齢社会の進行による人口の減少が続き、核家族やひとり暮らし高齢者、高齢夫婦のみの世帯の増加などが社会構造の変化につながっている。それにより、地域では近隣の連携機能や家族内の見守り及び介護機能の低下等に起因する生活困窮、虐待、ひきこもりなどの課題が顕在化している。

このような状況下で、社会福祉協議会では、地域福祉を推進する中核的な団体として市と連携を取り、従来の福祉事業に加え、権利擁護事業の推進や生活困窮者への食糧支援、災害時要配慮者援護事業、介護保険事業など、期待される役割への取り組みが求められている。本年度は新たに、福祉バス「こぶし号」の入れ替えや全国的な介護職の不足に伴う職員の減少による介護保険事業体制の検討、整理を行う。

また、基本的な姿勢である、市との連携から「韮崎市地域福祉計画」等を反映した事業の展開と、地区会員及び地区社協、関係福祉団等との協働で取り組む住民参加の福祉のまちづくりの推進に加え、法人後見事業等、独自の事業展開を図るため、以下の運営方針を掲げる。

- ◆ 地域福祉の推進のため、市と連携して課題の解決に取り組む。
- ◆ 地域に開かれた組織として運営の透明性と中立性、公平性の確保を図る。
- ◆ 事業の実施については、住民の参加及び住民との協働に努める。
- ◆ 適正かつ公正な支出管理と財務諸表の積極的な開示や説明責任を果たす。
- ◆ 組織体制の維持、充実に努め、なお一層の職員の資質向上を図る。

### 2. 活動目標

- ◆ 高齢者や障がい者、子どもたちにやさしい福祉のまちづくりを進める。
- ◆ 幅広い分野でボランティア活動及び市民参加を進める。
- ◆ 社会福祉協議会の活動について支部を通じて会員の理解と協力を深める。
- ◆ 地域福祉活動支援を念頭に置いた共同募金運動を推進する。
- ◆ 高齢者・障がい者サービスの事業者として市民の福祉向上に努める。
- ◆ 指定管理施設の効率的な運営と安定した経営を目指す。
- ◆ 災害時の要配慮者の対応等を関係機関と連携して日頃より備える。
- ◆ 地域福祉活動のコーディネート機能を進める。
- ◆ 介護報酬や障害福祉サービス等の法改正・報酬改定に適正に対応する。

### 3. 各種事業

#### (1) 地域福祉推進事業

地域福祉活動の活性化を図り、高齢者・障がい者等が安心して生活できる地域づくりを、組織の充実やボランティア活動、各種支援事業等を通じて支援する。

##### ① 地域福祉活動の推進（法人運営事業・生活支援体制整備事業）

- ◇ 会員の加入促進及び支部活動の推進
- ◇ 地区社会福祉協議会活動の支援
- ◇ 福祉のこころ醸成事業の推進
- ◇ おたすけ隊などの生活支援活動の推進

##### ② ボランティア活動の活性化（ふれあいのまちづくり事業・高齢者福祉事業）

- ◇ 韮崎市ボランティアの会  
支部長会議の開催や支部活動の推進、こぶしボランティア大会の開催、市や社協等が実施する各事業への協力等を推進する。
- ◇ ボランティアの育成、啓発  
ボランティア体験教室やボランティア講座の開催、活動への参加募集（街頭募金等）、中央公民館事業との連携等を推進する。
- ◇ 災害ボランティアの普及・育成  
講座の開催や災害ボランティアセンター運営訓練への参加等を推進する。
- ◇ 住民の自主的なボランティア活動の支援  
各団体の定例会や情報交換会「生きがい広場」（平成30年度より）の開催支援や、傾聴ボランティアや男性ボランティア、朗読ボランティア他の活動支援と会の育成を推進する。
- ◇ 介護支援ボランティア事業の推進  
制度の周知や研修会の開催、事業所との連絡調整、活動者のコーディネート等を推進する。

##### ③ 障がい者支援（在宅障害児（者）母子グループ療育・ふれあいのまちづくり事業）

- ◇ 障がい児（者）療育事業の開催（母子グループ）  
ダンスや料理教室、創作活動、県内外研修等の実施と、事業の周知及び新規参加者の募集を図る。
- ◇ 障がい者交流運動会の開催
- ◇ ひとりだち料理教室の開催（年2回）

- ◇ 老人福祉センターにおける居場所づくり
- ◇ その他障がい者に関する総合相談

④ 高齢者支援（高齢者福祉事業）

- ◇ 「老人福祉センターまつり」の開催（令和元年度より年1回）
- ◇ 高齢者に関する相談支援
- ◇ 老壮大学運営支援
- ◇ 老人クラブの育成
- ◇ 緊急通報体制事業の連絡調整（ふれあいペンダント）
- ◇ 高齢者生活状況確認事業の推進（絵手紙の送付）
- ◇ 地域住民定期訪問事業の連絡調整（民生委員によるヤクルトの配布）
- ◇ 訪問理美容サービス事業の推進
- ◇ 在宅高齢者外出支援事業の推進（タクシー券の交付）
- ◇ 介護用品支給事業の推進
- ◇ ことぶきデイルーム事業の推進（高齢者と児童の交流）
- ◇ いきいき山梨ねりんピック参加事業の支援

⑤ 広報活動（ふれあいのまちづくり事業）

- ◇ 社協だより&ボランティアだよりの発行（年間4回）
- ◇ ホームページ等による情報発信
- ◇ 市広報の活用、イベントチラシ等の作成配布
- ◇ 報道関係者への周知

⑥ 日常生活自立支援事業

- ◇ 福祉サービスの利用や日常的金銭管理の支援と事業の広報活動
- ◇ 高齢者・障がい者からの虐待や権利擁護に関する相談支援
- ◇ 法人後見事業との連携
- ◇ 県社協との事業連携の強化

⑦ 生活福祉資金活用事業

- ◇ 生活福祉資金の貸付に関する相談支援と広報活動

⑧ 共同募金に関する事業（共同募金配分金事業）

- ◇ 共同募金会韮崎市支会の事務局対応
- ◇ 赤い羽根共同募金、歳末助け合い募金活動
- ◇ 共同募金の配分に関する事務手続き及び公民館等施設整備の対応

- ◇ 歳末助け合い物品の贈呈
- ◇ 火災見舞金の給付
- ◇ 赤い羽根共同募金に関する広報活動（使途状況等）

⑨ 社会福祉団体の事務受託業務（法人運営事業・高齢者福祉事業）

- ◇ 総会、研修会等の実施に対する支援
- ◇ 会計・経理に関する支援
- ◇ 会員の登録、入会等に関する支援

葦崎市身体障害者福祉会や葦崎市遺族会、葦崎市ボランティアの会、葦崎市老人クラブ連合会、葦崎市老壮大学、葦崎市赤十字奉仕団（研修関係）の会員登録の支援を行う。

⑩ 生活困窮者の支援（生活困窮者支援事業）

- ◇ 生活困窮者に対する食糧支援

⑪ 法人後見事業（権利擁護事業）

- ◇ 権利擁護事業の推進（令和元年10月開始）  
後見事務の厳正化と担当職員の資質向上を図る。

（2）指定管理施設の受託運営

葦崎市の指定管理施設である老人福祉センターと在宅老人デイサービスセンターの管理運営を受託し、利用者のニーズに応じたきめ細かなサービスの提供と適正な施設の管理運営に努める。

① 老人福祉センターの管理運営（老人福祉センター管理運営事業）

- ◇ 施設の衛生管理、安全管理の徹底
- ◇ 省エネによる経費の節減
- ◇ 利用者の増加につながるサービスの実施
  - ・ ボランティア等の出演による「わくわく広間」の定期的な開催
  - ・ 甘酒の無料配付など季節に合わせたサービスの実施
  - ・ 回数券による割引サービスの実施
  - ・ 広報活動による新たな利用者の確保
  - ・ 陶芸、舞踊、カラオケ等、クラブ活動の支援と発表の場の提供
  - ・ 敬老の日無料サービスの実施
  - ・ 地域の福祉活動への施設及び備品の貸出
  - ・ 計画的な施設の修繕及び備品等の整備

- ・健康体操（百歳体操）の実施
- ◇ 福祉避難所としての運営訓練や体制整備
- ◇ 福祉バス「こぶし号」の管理運営（令和2年度入替え）
- 安全運転及び事故防止の徹底と定期的な車輛の点検及び整備の実施

## ② デイサービスセンターの管理運営（通所介護事業（大草・穴山））

- ◇ 「こぶし荘」と「なごみの郷」の管理運営（平成28～令和2年度）
- ◇ 施設の衛生管理及び安全管理の徹底
- ◇ 個々のニーズに応じた対応
- アンケートの実施、意見箱の設置等による要望等の把握や心身機能の維持向上に関するレクリエーション及び機能訓練の実施。
- ◇ 地域包括支援センター等との連携強化
- ◇ ボランティアの積極的な受け入れ
- ◇ 要配慮者の避難所としての受入れ体制の整備
- ◇ 資格取得者、学生等の実習受け入れ
- ◇ 通年行事
  - ・ 月間行事：誕生日会（毎月）
  - ・ 週間行事：ビデオ鑑賞、カラオケ大会
  - ・ 季節行事：4月お花見、7月七夕、8月夏祭り、9月敬老会、10月運動会・紅葉見学、11月焼き芋会、12月クリスマス会。1月かるた大会、2月節分、3月ひな祭り

## （3）介護保険事業等

社協が事業者となり、地域福祉推進の目的で取組む自主事業で、介護等が必要な方とその家族にサービスの提供を行うものであるが、近年、同業事業所の増加等による利用者の減少と全国的な介護職の不足に伴い、職員の補充等が困難な状況である。令和元年度末のデイサービス職員2名の退職により、今後の運営が困難なことから事業内容を検討して、5月末日を目途に訪問介護事業を休止とし、職員をデイサービスへ転属して経営の安定化に努めることとする。

## ① 居宅介護支援事業（居宅介護支援事業（穴山））

介護サービス利用者が地域で可能な限り自立した生活を送り、介護者も安心して在宅介護を継続できるよう、保健・医療・福祉と連携して、地域資源の活用を含めたサービス利用計画の作成を行う。

- ② 訪問介護事業

また、職員、賃金職員、登録ヘルパーについて、職員は通所介護事業所に編入して、他の職員には聞き取りを行い通所介護事業所の就労希望者は採用し、転職する者には支援を行うなど円満な終了を目指す。

要支援等の利用者が、自宅で自立した生活が送れるよう、機能訓練等の支援を行う。

営業日：月・木曜日（国民の祝日、年末年始を除く）

サービス提供時間：午前9時30分～11時30分

事業所名：大草デイサービスセンターこぶしクラブ

穴山デイサービスセンターなごみクラブ

令和2年度5月31日を目途に事業を休止する。

身体障がい者・精神障がい者・知的障がい者等が、地域で自立した生活が送れるよう、行政と協力して障害者総合支援法に基づくサービスを提供する。

- 6 -